

MDHCだより

NO. 86

R 1. 5. 1

三河歯科衛生専門学校

校長 和田 昭

平成から令和に元号が変わり、新しい風を期待する高揚感が日本中に満ちています。日本においては、昭和は戦争と戦後復興の激動の時代であり、平成は昭和に築いた財産を緩やかに維持してきた時代であると、巨視的には言えると思います。

それでは、令和はどんな時代になっていくでしょうか。今後ITやIOTのインフラが整備され、AIが進化する事は間違ひありません。その結果、多くの仕事がマックジョブ化（資格も研鑽も必要ない簡単な仕事）していきます。そんな中で、医療（特に歯科）は資格を持ち、研鑽を積んだ人間しかできない仕事の上位に挙げられています。それは、コミュニケーションが必須の要素であり、チームワークが必要とされる職種だからです。

皆さん方が目指している DH という職種は、令和の時代で輝きを増し、今以上に社会から必要とされる事は確実です。そういう意味では皆さん方は、非常に賢い選択をされたと思います。しかし、喜ぶのは国試をパスしてからにして下さい。

令和の時代の DH には、今まで以上のマルチタスクとメタスキルが求められます。すなわち、より多様な知識と技術と経験値が必要とされるという事です。そのためには、生涯の仕事として長く DH として働いて頂きたいと思います。それがロングキャリアを目指すという事です。その意識がなければ社会に貢献できる良い DH にはなれません。令和の時代に生きる DH となるべく、未来を見据え今を一步ずつ確実に埋めていって頂きたいと思います。

1 入学式（23回生）

2019年度入学式が4月4日(木)に執り行われました。

西三河地区歯科医師会を代表して刈谷

市歯科医師会の長澤会長より「健康寿命を延ばすには全身の健康につながる口の健康を保つことであり、その重要な担い手がD Hである。3年後には全員そろっ

てDHとなり、健康増進のために活躍してくれることを願っている。」とDHの重要性を、愛知県歯科衛生士会の鈴木理事より「私はDHの仕事をしながら、結婚、出産、育児を行ってきた。今振り返ってみると本当に続けてきてよかったと思う。3年間で大事なことをしっかりと学び、卒業後DHとして素晴らしい人生を歩むことを心より祈願している。」とご自身の充実した生き方とともに激励のお言葉を頂きました。

2 臨床実習2期まとめから

1) 臨床実習2期で学べたこと～抜糸～

『自分に自信がなくコミュニケーションをとることが苦手だったが、指導者の方から時には厳しく、また、できた時には誉めていただきなど、親身になって指導をしていただき、少しづつ自分が成長していることが実感できた。まだまだ努力は必要だが、この温かいご指導を無駄にしないように、前向きに取り組んでいきたいと思う。』

『病棟の口腔ケアを見学し、一人ひとりの全身疾患の状態と口腔機能のレベルに合った管理方法の難しさは想像以上だった。しかし、指導DHは的確に判断、ケアを行っており、その偉大さを目の当たりにした。そして、会話のできない患者様が、口腔ケア終了後に笑顔を見てくれたときは、私も一人でも多くの方が喜んでいただけるような知識・技術を確実に身に付けたいと強く思った』

2) 自己評価

『基本的事項に関する評価』

①社会人としての基本姿勢（7項目合算平均）

	1期	2期
よくできた	59.9%	43.6%
できた	32.1%	33.4%
あと少し	6.3%	21.3%
できなかつた	1.7%	1.7%

②患者理解（2項目合算平均）

	1期	2期
よくできた	56.1%	39.0%
できた	32.9%	45.1%
あと少し	11.0%	15.9%
できなかつた	0%	0%

③學習姿勢 (6項目合算平均)

	1期	2期
よくできた	36.6%	15.4%
できた	48.8%	50.4%
あと少し	11.4%	31.3%
できなかった	3.3%	2.8%

『実習帳に関する評価』（5項目合算平均）

	1期	2期
よくできた	38.0%	28.8%
できた	43.4%	38.5%
あと少し	18.5%	28.8%
できなかつた	0%	3.9%

『歯科診療補助に関する評価』（13項目合算平均）

	1期	2期
よくできた	20.3%	11.3%
できた	42.0%	37.7%
あと少し	27.4%	38.5%
できなかった	3.8%	7.1%
実習していない	6.6%	5.4%

1期に比べ全体的に評価が下がっている要因は、努力が足らなかつたのではなく、自己を客観的に判断できるようになったことが背景にあるように思います。今後は自分の足らない部分が補える実習内容になることを期待したいです。